

よかひより



謹んで初春のお慶びを申し上げます



新年あけましておめでとうございます。
地区の皆様や各種団体の方々には、行事の取組等、色々ご協力下さいまして、ありがとうございます。

昨年は未曾有の熊本地震が発生して驚かされましたが、本町は何事も無く安堵いたしました。「災難は忘れた頃にやってくる」と申します。今後、私達は日頃から危機意識を共有して、行政や関係機関との連携を深め対応する事の必要性を強く思うところです。

又、皆様は、採石場の事では、さぞ心を痛められ、心配されている事と思います。

今私達は、まちづくり協議会を中心として、昨年の六月より採石の中止と製鋼スラグ搬入反対の活動を進めています。

現場と周辺は環境破壊の極みです。
採石に当たり、地域住民に十分な説明もされず、四十年の長きにわたり続いています。終了後は段切りと緑化する約束も守られていません。

更に深堀りした跡地に八代港のヘドロ等を埋め、健康被害が懸念されている多量の製鋼スラグが遠く岡山県より搬入されています。又、風評被害が続くと、御所浦の生きる道が閉ざされてしまいます。

私達は子孫に負の遺産を残すことは絶対許されません。
どうぞ今後共にご支援をお願い致します。

最後になりますが、本年が皆さまにとりまして、幸福多い一年となりますように心からお祈り致します。



御所浦地区振興会

会長 花里 安幸

視察研修を実施しました ～二江地区・城河原地区（五和町）へ～

12月8日（木）に五和町の二江まちづくり振興会と城河原地域づくり振興会の活動を学ぶため、会員15名で二江地区コミュニティセンターを訪問しました。二江地区、城河原地区それぞれの振興会の概要と事業内容などについて説明をいただき、意見交換を行いました。二江地区・城河原地区ともみんなで知恵を出し合って、積極的に地域づくりに取り組まれており、短い時間ではありましたが、大変有意義な研修となりました。また、二江地区、城河原地区のみなさんの行き届いたおもてなしに参加者一同感銘を受けました。二江・城河原のみなさんありがとうございました。



研修会場の様子（3地区合同での研修）



説明を聞く参加者（みんな真剣です）



意見交換も活発でした



和やかな雰囲気でも交流できました
（加工グループのお二人と）

豊かな海を再び～アマモ場再生の取組み～

御所浦の漁業者・天草漁業協同組合・御所浦地区振興会で構成する「御所浦地区壮青年部グループ」では、地域の水産資源の維持・再生を図るため水産多面的機能発揮対策事業に取り組んでおり、「アマモ場」をはじめとした「藻場」の造成や、岩場の清掃活動などを行っています。その活動の一環として、11月14日（月）に天草市水産研究センターで御所浦小学校の5年生を対象にアマモについての勉強会とアマモの種付け体験が行われました。児童たちは、水産研究センター職員や壮青年部グループのメンバーから指導を受けながら、土を入れたポットにアマモの種を植え付けていました。



小学生がアマモの種付けを体験



アマモの種付けの様子

用語解説

アマモ・・・北海道から九州にかけて、浅い海の砂地に生えている海草です。ワカメやコンブといった海藻とは異なり、春には花が咲いたり、夏には種を作ったりと、陸上の稲に近い種類です。
アマモ場・・・アマモは主に水深2～3mのゆるやかな砂地に、草原のように広がって繁茂します。このアマモの草原をアマモ場と呼びます。
藻場・・・別名「海のゆりかご」とも呼ばれ、稚魚やエビ、カニなど、様々な生物のかくれ場となったり、産卵の場所となったりします。

アマモ場をはじめとする「藻場」を造成することは、海に稚魚を増やし、豊かな海を作っていくために、大きく貢献します。

※熊本県（水産研究センター）発行の「漁業者のためのアマモ造成マニュアル（平成26年3月発行）」より引用。



～ごしょうらジオ自慢～



11月号から御所浦地域のジオサイトっぽいスポットを紹介しているこのコーナー。今回も、御所浦白亜紀資料館の黒須弘美学芸員から紹介していただきました。

NO.2：トリゴニア砂岩化石採集場

御所浦白亜紀資料館から徒歩5分のところにある「トリゴニア砂岩化石採集場」では、御所浦島の南部に位置する「採石場跡地」のガケから自然にこぼれ落ちた石を運び入れており、化石採集体験を気軽に楽しむことができます。この石には、中生代白亜紀（約1億年前）の浅い海にいた二枚貝の化石が多く見られ、運が良ければアンモナイトの化石を見つけることもできます。看板には、化石採集場の名前にも入っており、化石採集場でよく見られる「トリゴニア」の仲間の二枚貝のオブジェも飾られています。御所浦白亜紀資料館では、ハンマーの無料貸し出しも行っていきますので、お気軽にお立ち寄りください。

御所浦白亜紀資料館 黒須 弘美

